

オヒョウ

ニレ科
ニレ属
樹高 20~25m

春

葉よりも先に
花が咲く

風で花粉が運ばれる
風媒花

夏 種子が熟す

葉は大小形状不定で
葉脚（葉の付け根）
が左右不揃い

リン子の絵日記

オヒョウ

おもしろい
形の葉っぱ
だね！



オヒョウの葉は形が多様
で一枚として同じものは
ないと言われているよ。

アイヌ民族はオヒョウの樹皮からアットウシ
という布を作ってきた。



① 木が水を
多く吸い上げる
春にオヒョウの
樹皮を剥ぐ。
内皮だけ
持ち帰る。



② 木の灰などを
入れて皮を
煮る。

洗って
乾かして
保存する。



③ 湿らせた内皮を
薄く剥いでいく。



④ 細かく糸状に裂き
一本ずつ指で結び
絞りをかけて
繋ぐ。

⑤ 出来上がった
カタク（糸玉）
を織り手が
腰機（後帯機）
で織っていく。

オヒョウの
葉と同じく
一つとして
同じものはない
伝統的工芸品だ。

こうしてできた
アットウシは水に
強く通気性に優れ
独特な風合いを持つ
すてき。

秋

黄葉する

冬

冬芽

成長すると灰色の樹皮が
薄く剥がれる

アカエツマツ

マツ科
トウヒ属
樹高 30 ~ 40m

春

雌花は前年の
枝につく

雌花

雄花

夏

葉の断面は四角形

リン子の絵日記

アカエツマツ

かりんちゃんピアノ上手！
すっごくいい音だね。
ひいおはあ様から
受け継いだピアノですの。

このグラランドピアノには最上級の北海道産
天然アカエツマツが使われていますの。



ピアノの
心臓は弦の音
を豊かに響かせる
響板！



さらにアカエツマツ
から抽出された
精油は、いやしの
アロマの他、
色々な効果
が期待されて
いますのよ。

豊かな音色に
いやしの香り...

アカエツマツは五感で楽しむ
北海道のソウルウッド。



近年は人工林アカエツマツの
活用に向けて、枝打ちなど
手入れが行われていますわ。

枝打ち
枝を切り落とし
節のない材を
育てる作業。

秋

まつぼっくりは
エツマツより
細い

種子

冬

冬芽は松ヤニに覆われる

樹皮はエツマツと比べ
ガサガサと粗い

エゾヤマザクラ

バラ科
サクラ属
樹高 15 ~ 20m

リン子の絵日記

エゾヤマザクラ

エゾヤマザクラは
やっぱり花の色が
濃くて鮮やかなね。

ソメイヨシノも
きれいだわ。

少し遅れて咲く
カスミザクラも
可憐だね。

ライラックと同じ
時期に咲く
チシマザクラは
低木で香りがあるよ。

サクラ開花宣言 標本木

- ① ソメイヨシノ
- ② エゾヤマザクラ
- ③ チシマザクラ

ちなみに、春に出されるサクラ開花宣言の
標本木は、地域によってサクラの種類が違うんだ。

カスミザクラ

ソメイヨシノ

エゾヤマザクラ



あら？
花がまるごと落ちて
いるわ。

スズメの仕業だね。
くちばしの短い
スズメは、サクラの
花をちぎり取って
蜜を吸うんだ。

花より団子ね。

こっちは花より
お肉だね。

いっただきま〜す!!

北海道名物
サクラの下でジンギスカン!

春

花と葉がほぼ同時に開く

秋

紅葉は赤・黄・橙色と多様

葉ははじめ
赤みがる

夏

冬

冬芽は
粘りがある

冬芽には
花芽と葉芽がある

樹皮は横に
皮目が入る

実は熟すと
緑→赤→黒紫色と
変化する

ナナカマド

バラ科
ナナカマド属
樹高 10 ~ 15m

春
小さく白い花が
穂咲きする

リン子の絵日記

6月

わあっ
きれいな白い
花だね!

ナナカマドですわ。
花言葉は
「安全・用心・慎重」
あんげん じんじゆう

交通事故防止の
願いを込めて
街路樹として
植えられていますのよ。

だからナナカマドは道内で、
市町村の木
としての指定が最も多いんだ。



12月

真っ赤な実が
真っ白な雪を
かぶっているよ。

ナナカマドの実には
保存料や毒成分が入っているから、
腐らず食べられないんだって。

2月

実が凍ると
毒がなくなる
んだって。

う〜さささささ
あ、レンジャク



秋 美しい紅葉
実も紅く色づく

落葉後も
赤い実が
残る

冬

冬芽は
べとべと
している

幹は淡褐色で
楕円形の皮目あり
成木になると暗灰色
で浅くさける

夏 黄緑の実が
鈴なりに実る



カラマツ

マツ科
カラマツ属
樹高 20 ~ 40m

リン子の絵日記

カラマツ

森全体が
まっ黄色!

カラマツの黄葉は
みごとだね

カラマツは明治13(1880)年に長野県から
北海道へ移入されたのが最初とされている。

苗木の活着が良く、成長も早かったため
全道各地で植林されカラマツ林が広がったんだ。

道内人工林の
約3割が
カラマツ林だよ

ハナイグチはカラマツ
から養分をもらう
代わりに、無数に
広げた菌糸で
集めたリンや
窒素、水分を
カラマツに
与えているよ。

あつらくヨウキノコ発見!
本名ハナイグチだね。
カラマツ林にしか
出ないキノコだよ。

本当は
根の部分が
膨らんで
いる!

キノコ(菌)と
共生した菌根だ。
お互い助け合って
生きているんだ。



春

かわいい花と新葉が
展開する

秋

葉は黄金色に
黄葉し
まつぼっくりが熟す

種子

雄花は下を向く

パイナップル
のような雌花は
上を向く

冬

針葉樹だが落葉する

夏

丸みのある
まつぼっくりを
つける

冬芽は
らせん状につく

枝の先端の
頂芽

灰褐色で細長い
縦の鱗状の樹皮

ミズナラ

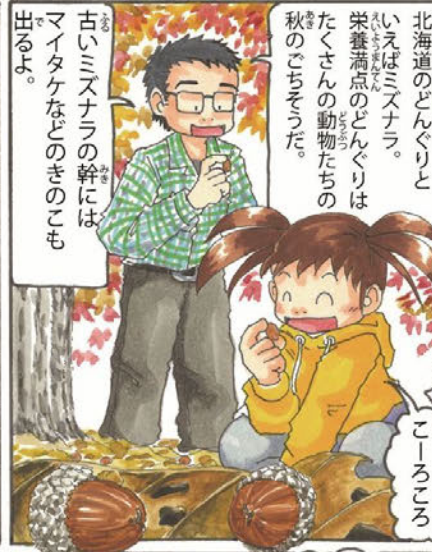
ブナ科
コナラ属
樹高 30m

春

冬芽は遅霜に備えて一度に開かない

リン子・絵日記

北海道のどんぐりと
いえばミズナラ。
栄養満点のどんぐりは
たくさん動物たちの
秋のごちそうだ。



古いミズナラの幹には
マイタケなどのきのこも
出るよ。

ミズナラは名前の通り水を多く含む木だ。重く、堅く、どっしりとして木目も美しいから、高級家具材や内装材に活用されているよ。

おもしろい
木目があるね!



虎の模様のようなから「虎斑」と呼ばれているんだ。

また、若いときの成長も早いから、木炭や、シイタケ栽培の原木にも利用できる。

切り株から
たくさん芽が
でてくる!

萌芽だね。
育てて切つてを
繰返せるんだ。



枝を大きく張り、
500年以上の寿命
を持つミズナラは、
ヨーロッパ
で「森の王」と
呼ばれているよ。

動物にも、きのこ
にも、人にも役に
立ってくれる。
森の優しい王様だね

秋 ドングリは落葉の下で根を出し冬を越す



冬 冬芽は真上から見ると5角形に見える



樹皮は灰褐色で縦に不規則な割れ目

夏

実(ドングリ)が少しずつ大きくなる



雄花



雌花

